

社名に込めた想い

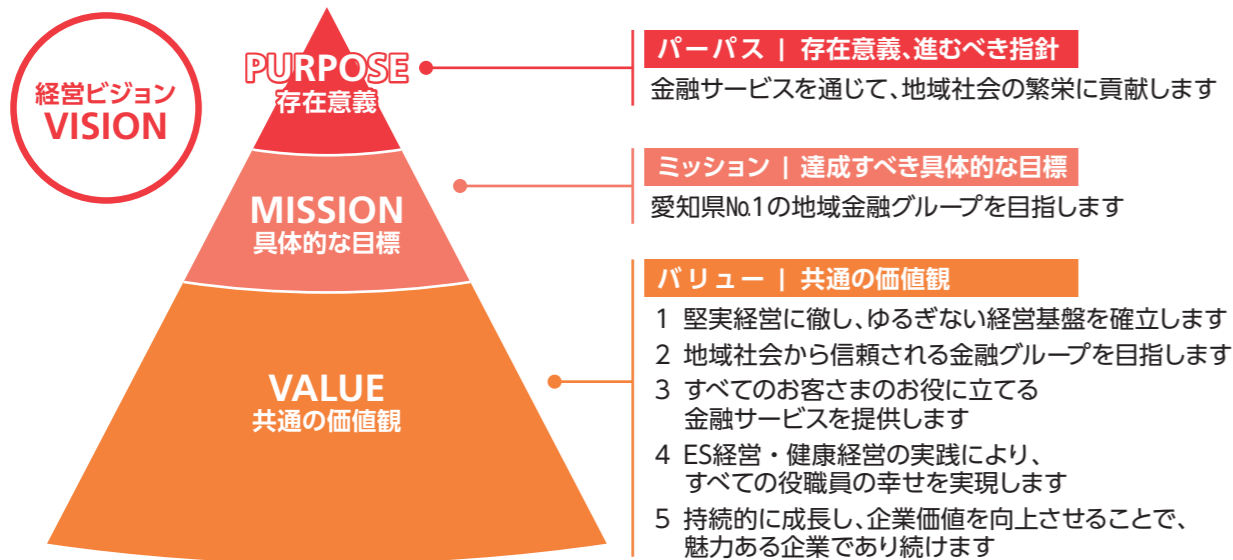


私たちの主な営業基盤である愛知県を大切に、ともに成長していくことで「愛知県No.1の地域金融グループを目指す」という想いを込めています。

「あいち」

愛知銀行の「あ」と中京銀行の「ち」が、地域いちばんの「い」と一緒に目指すという想いも込めています。

あいちフィナンシャルグループの経営理念



当金融グループは経営理念を経営ビジョン「VISION」と呼び、パーパス「PURPOSE」、ミッション「MISSION」、バリュー「VALUE」の3つの要素により、全従業員が目指す姿及び意思決定の際の指針とします。



Contents

イントロダクション

- 1 | あいちフィナンシャルグループ
コーポレートスローガン
- 2 | あいちフィナンシャルグループの想い

あいちFGについて

- 3 | 社名に込めた想い／経営理念
- 5 | あいちFGのあゆみ
- 7 | 地域のポテンシャル
- 9 | あいちFGの強み
- 11 | 価値創造プロセス
- 13 | 財務・非財務ハイライト

トップメッセージ

- 15 | トップメッセージ
あいちフィナンシャルグループ
代表取締役社長 伊藤 行記
代表取締役副社長 小林 秀夫

あいちFGの成長戦略

- 21 | 長期計画－中期経営計画KPIと統合シナジー
- 23 | あいちFGの成長戦略
- 33 | **特集** DX推進の取り組み
- 35 | **特集** 自動車産業へのサポート

価値創造を支える経営基盤

- 37 | サステナビリティへの取り組み
～TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への取り組み～
- 41 | サステナビリティへの取り組み
～ステークホルダーコミュニケーション～
- 45 | コーポレートガバナンス
- 49 | 役員一覧
- 51 | 社外取締役メッセージ
- 53 | リスク・ガバナンス

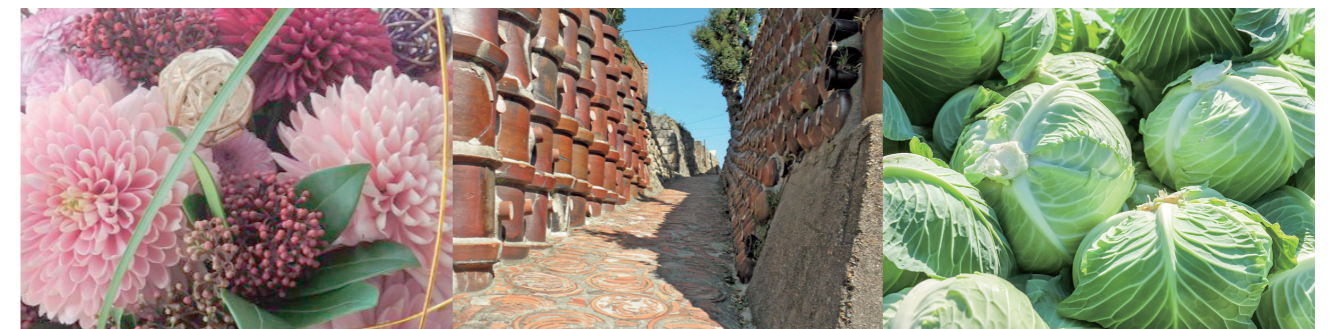
コーポレートデータ

- 57 | 企業情報

編集方針

このたび、投資家を中心としたステークホルダーの皆さまに当行の持続的な価値創造に向けた取り組みをご理解いただくため、「統合報告書」を作成いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)が提唱する「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考にし、当行のビジネスモデルや、持続的な価値創造の仕組みを統合的に説明しております。なお、詳細な財務データ等につきましては、「2023年3月期ディスクロージャー誌」を当社ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

※2021年6月に国際統合報告評議会(IIRC)はサステナビリティ会計基準審議会(SASB)と統合し、価値報告財団(VRF)を設立しています。銀行法に基づいて作成した「2022年3月期ディスクロージャー誌」は、ホームページにてご覧いただけます。



あいちFGのあゆみ



愛知銀行

- 1910年9月 名古屋にて日本貯蓄興業株式会社(後の名古屋無尽)を設立
- 1918年6月 大口町にて愛知無尽を設立
- 1942年2月 愛知無尽株式会社を設立(名古屋無尽と愛知無尽の2社合併)
- 1943年2月 八紘無尽と紀勢無尽が合併し、八紘無尽株式会社を設立
- 1944年5月 愛知合同無尽株式会社設立(愛知無尽株、勸業無尽株、東海無尽株の3社合併)
- 1945年12月 本店を三重県名張市に移転
- 1951年10月 株式会社中央相互銀行に商号変更(相互銀行法施行による)
- 1951年10月 相互銀行法の施行により株式会社太道相互銀行に商号変更
- 1954年9月 現在地へ本店移転
- 1960年9月 創業50周年
- 1961年10月 名古屋証券取引所市場第二部に上場
- 1964年2月 名古屋証券取引所市場第一部に上場
- 1969年5月 名古屋信用金庫と合併、株式会社 中京相互銀行に商号変更
- 1970年2月 名古屋証券取引所市場第一部に上場
- 1970年2月 名古屋証券取引所市場第一部に上場
- 1989年2月 普通銀行へ転換、中京銀行誕生
- 1989年2月 普通銀行に転換、愛知銀行誕生
- 1989年7月 世界デザイン博覧会へ愛知銀行・中京銀行が共同出展“ときめきCITY館”
- 1989年11月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 1989年11月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 1992年8月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2002年3月 UFJ銀行(現三菱UFJ銀行)を引受先とする第三者割当増資の実施、資本金318億円に
- 2010年9月 創業100周年
- 2013年2月 創業70周年
- 2019年3月 「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)~ホワイト500~」に初選定(以降、現在まで5年連続)
- 2019年10月 中京銀行 SDGs宣言
- 2020年1月 「あいぎんグループ SDGs宣言」を制定
- 2020年3月 「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に初選定(以降、現在まで4年連続)
- 2020年3月 東京証券取引所市場第一部に上場
- 2021年12月 経営統合に関する基本同意書締結
- 2022年8月 自己株公開買付により三菱UFJ銀行が保有する当行株式のすべてを取得
- 2022年10月 あいちフィナンシャルグループ設立



Aichi FG 2022年10月 あいちフィナンシャル グループ設立

金融サービスを通じて、
地域社会の繁栄に貢献
愛知県No.1の
地域金融グループへ

社会のできごと

1914 第一次世界大戦に参戦	1964 東京オリンピック開催	1980 公定歩合引き上げ(戦後最高値)	1990 バブル経済崩壊/湾岸戦争	2007 サブプライム住宅ローン危機
1920 株価大暴落	1973 第一次石油危機	1985 プラザ合意	1993 EUが発足	2008 リーマンショック
1923 関東大震災	1974 第二次石油危機	1987 NY市場 株価大暴落(ブラックマンデー)	1995 阪神淡路大震災	2011 東日本大震災
1945 広島・長崎に原爆投下	1988 瀬戸大橋が開通	1989 日経平均株価が最高値を記録(38,915円)	1997 消費税増税/アジア通貨危機	2016 熊本地震/日銀、マイナス金利政策導入
			1999 欧州でユーロが誕生	2019-2022 新型コロナウイルス(COVID-19)が世界で蔓延
			2000 ITベンチャーブーム/株価崩壊ショック	2022 ロシア・ウクライナ情勢の緊迫化
			2001 同時多発テロ発生(アメリカ合衆国)	2023 新型コロナウイルス「5類」に引き下げ
			2003 イラク戦争	

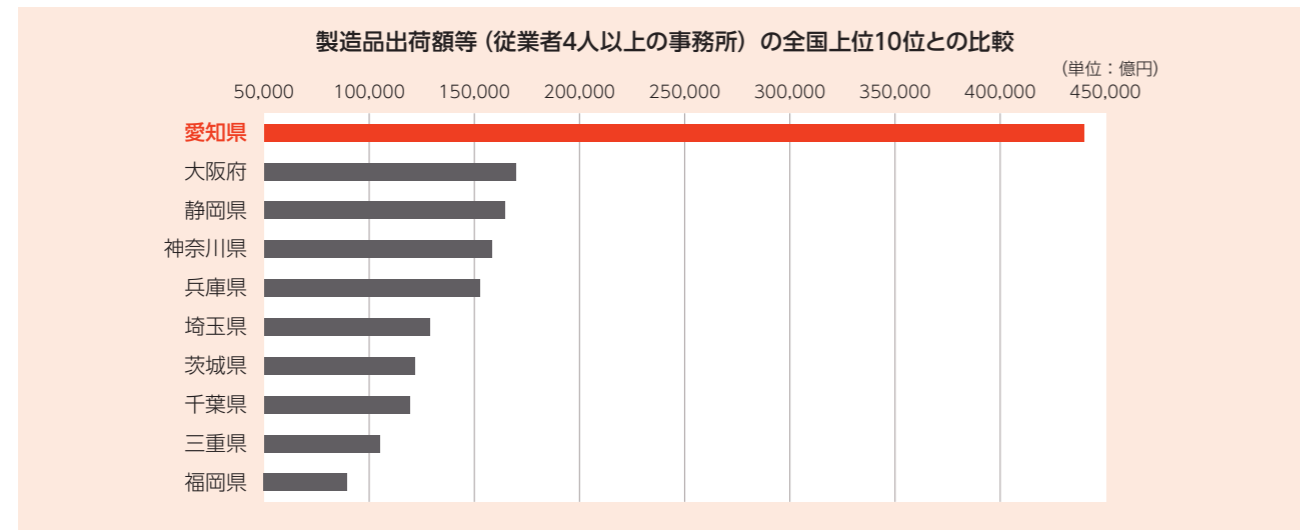
地域のポテンシャル

『ものづくり』を中心とした多様な産業構造

愛知県は製造品出荷額が1977年以降44年連続で全国1位を維持し続けていることや、工業の事業所数も全国1位など、工業が盛んであり「ものづくり県」と言われております。

製造業に限らず、多様な自然環境や大消費地と産地が近いという地理的条件を生かし、農業算出額が全国8位の農業県でもあります。

県内総生産	40兆9,107億円	全国3位	(令和元年度)
製造品出荷額等	43兆9,880億円	全国1位	(令和3年)
年間商品販売額	32兆6,284億円	全国3位	(令和2年)
農業産出額	2,922億円	全国8位	(令和3年)

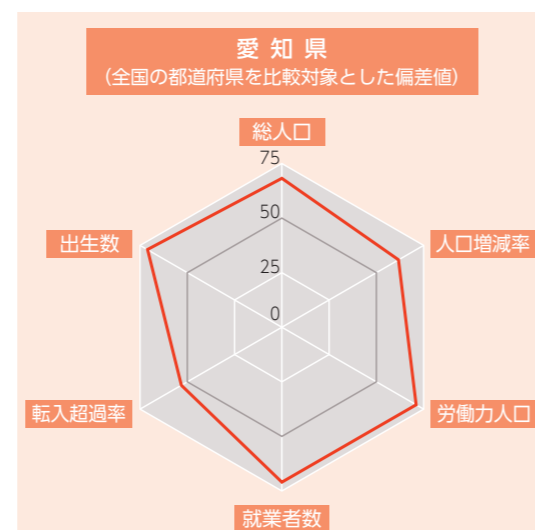


(出典：総務省・経済産業省 令和3年経済センサスより当行で加工したもの)

全国トップクラスの人口・人口動態

愛知県は総人口749万人と全国4位に位置し、中部経済圏の中核となる県です。また、人口増減率、労働力人口、出生数などの人口動態に関しても全国と比較し上位に位置しております。

項目名	愛知県	
	データ	順位
総人口(総数)【人】	7,495,000	4位/47
人口増減率【%】	-0.34	8位/47
労働力人口(国勢調査)【人】	3,728,752	4位/47
就業者数(国勢調査)【人】	3,605,438	4位/47
転入超過率【%】	-0.04	15位/47
出生数【人】	51,151	4位/47



(出典：統計ダッシュボード (https://dashboard.e-stat.go.jp/) のデータを加工して作成)

恵まれた交通インフラ網

愛知県は道路、港湾、空港、鉄道の各インフラ網が整備され、陸海空の交通・物流拠点となっております。道路では、東名・新東名・名神・中央道・東海北陸道などの優れた高速道路のネットワークを形成し、港湾では国際拠点港湾である名古屋港を中心に国内外を結ぶ流通基地としての役割を果たしております。また、空港では、中部国際空港（セントレア）と県営名古屋空港があり、ビジネスや観光ニーズに対応しております。そして、鉄道では、リニア中央新幹線の計画として東京から名古屋を最短40分で結ぶ計画が進行しており、この計画が実現すれば愛知県を中心とする当地域の一層の活性化が期待されております。



今後注目される愛知のトピックス

愛知県では、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内にオープンした「ジブリパーク」や、史跡の確実な承継と一層の魅力の向上を目的とした「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」などといった観光分野の活性化に力を入れております。また、2026年に予定されている「アジア競技大会・アジアパラ競技大会」の開催を通じ、当地域の存在感を示すとともに、スポーツ・観光の振興や新たな産業の創出など、地域の活性化につながる取組みが注目されております。

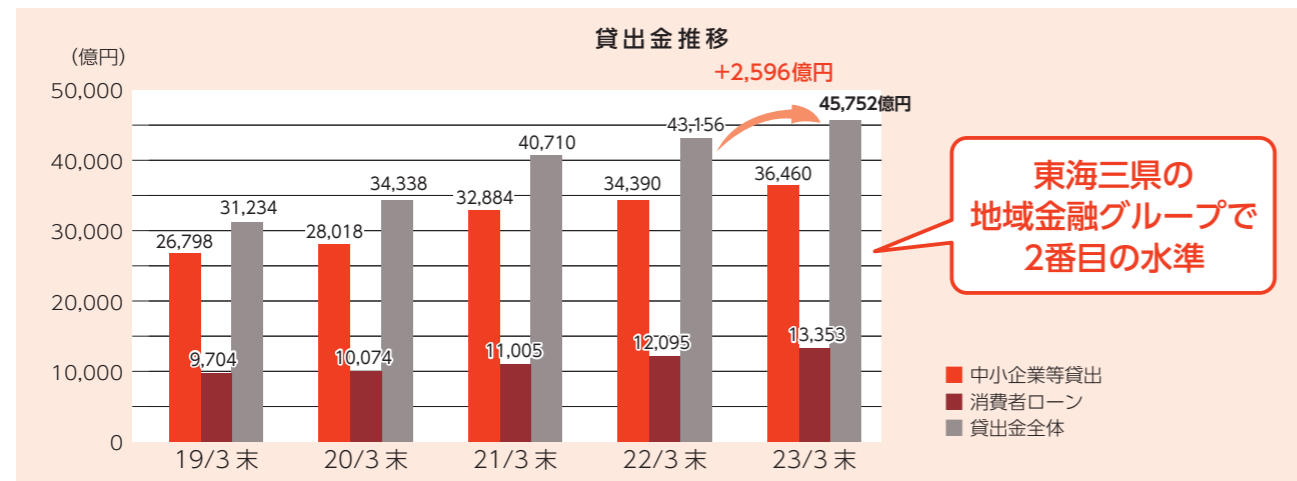


あいちFGの強み

1. 貸出金残高の推移

2行合算の貸出金残高は、積極的な地元中小企業への資金繰り支援や住宅ローンを中心に前年比2,596億円増加の4兆5,752億円となり、また2行合算の預貸金合計残高は10兆2,091億円となりました。

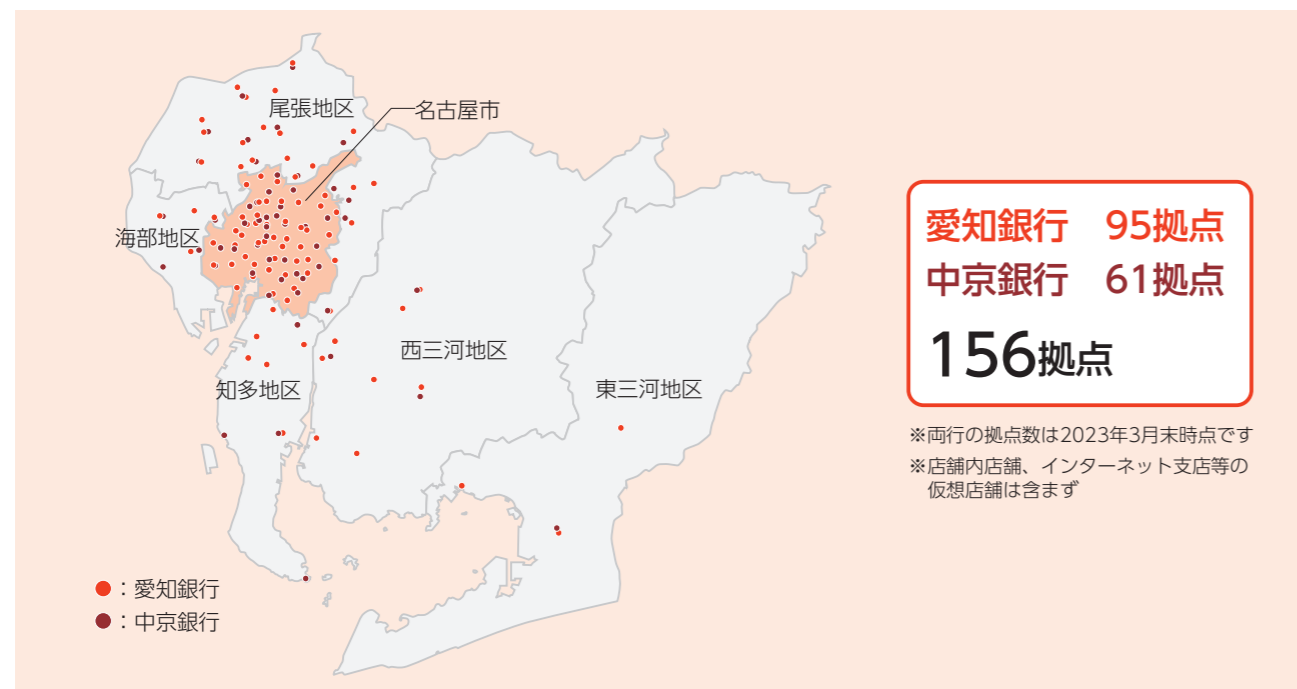
経営統合により、貸出金残高は愛知県の地域金融グループで最大となり、愛知、岐阜、三重の東海三県の地域金融グループでも、2番目の水準となっております。



2. 愛知銀行+中京銀行のネットワーク

当社グループの主なマーケットである愛知県の拠点網につきましては、経営統合により両行の拠点が合算されたことで営業基盤が大幅に拡充されております。

愛知県は強固な産業基盤を有し、将来的な人口減少を踏まえても、成長ポテンシャルは相応にある極めて恵まれた地域となっており、地域の成長とお客さまのニーズにお応えすることで、地域やお客さまから選ばれる地域金融グループとして持続可能な経営を成し遂げていきたいと考えております。



3. メイン先数の推移

愛知県企業がメインバンクとして認識している金融機関の比率は、愛知銀行・中京銀行合算で12.36%と、当地区の地銀、第二地銀、信用金庫の中でトップシェアとなっております。

また愛知県内の預金・貸出金残高は増加基調で推移しており、愛知県内の預金シェアは10.54%、貸出金シェアは15.09%と、強固な営業基盤、お客さま基盤を構築しております。

メイン先数の推移

	2020年度 (順位)	2021年度 (順位)	2022年度 (順位)
あいちフィナンシャルグループ	12.29% (1位)	12.31% (1位)	12.36% (1位)
愛知銀行	8.05% (2位)	8.08% (2位)	8.12% (2位)
中京銀行	4.24% (6位)	4.23% (6位)	4.24% (6位)

地方銀行・信用金庫の中でメインバンクシェア率がNo.1 (※帝国データバンク調べ)

4. 人財力

コンサルティング・ソリューション型ビジネスの強化に向け、専門分野における営業スタッフを本部に配置し、営業店支援体制の強化を図るとともに、本部営業スタッフ自らも取引先企業に提案活動を行っております。

	法人向け				個人向け
愛知銀行	ソリューション営業 G 17名	事業承継・M&A G 8名	プライベートバンキング G 事業保険チーム 5名	海外ビジネス推進 G 9名	プライベートバンキング G プライベートバンキングチーム 7名
中京銀行	ソリューションチーム 4名			外為支援チーム 2名	ウェルスマネジメントチーム 12名
両行合計	21名	8名	5名	11名	19名

当社グループのめざすべき人財像を「戦略人財」として定義し、2022年度は165名を創出、既に各分野で活躍しております。また、合併までのシナジー効果を最大化するために、更なる戦略人財の創出に向けた育成プログラムを展開しております。

戦略人財の創出・育成に向けたスケジュール (一部抜粋)

年度	2023年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
営業店プロフェッショナルRM [RM]	RM候補者研修 (第1回) 上級者 60名: ワークショップ形式 中級者 80名: 座学形式 → スキルチェック → RM認定											
本部ソリューションエキスパート [SE]	SE認定 → 業務毎の役割を明確化 → ●常時実施・業務毎のOJTを中心とした育成 → トレーニー派遣・外部出向先の検討 → トレーニー派遣、外部出向による研修の実施											
戦略リスクリテラシー人財 [RS]	●常時実施... 「リスクリテラシー学習メニュー」を利用した自己啓発											
DXベース人財	●常時実施... 社内研修 (TVMS、eラーニング等)、外部講座 (DX、AI、RPA等)											
マルチスキル人財	スキルチェック → ●常時実施... マルチスキル化に向けた業務研修 (融資、住宅ローン、預かり資産) → スキルチェック → 集計 → 指名研修 → 認定											
プロフェッショナルベース人財	スキル → 集計 → 指名研修 → 認定 → スキル → 集計											
新営業戦力人財	●常時実施... ソリューションスキル習得に向けた業務研修											
新領域人財	営業コミュニケーション研修、財務分析・案件組成・提案等の研修、短期トレーニー (LA、リース、渉外業務等) の修了により、都度認定											
高度スキル人財	●各種難関資格 (中小企業診断士、税理士、公認会計士、社会保険労務士、FP1級等) の資格取得											

価値創造プロセス

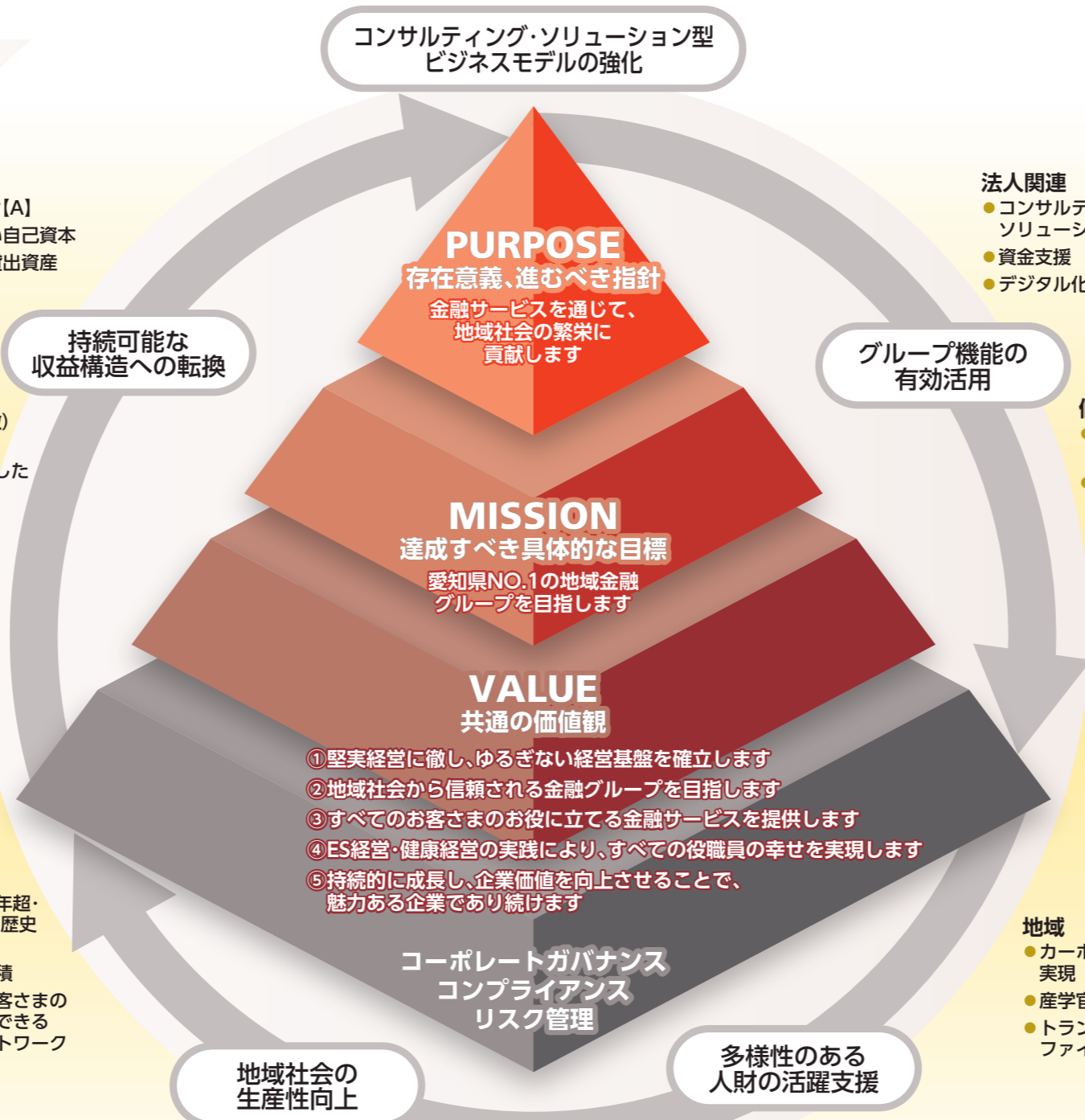
外部環境

- 地球温暖化がもたらす気象災害の激甚化・頻発化
- 事業承継問題
- デジタル化の進展
- ナゴヤ金利と呼ばれる低金利環境の継続
- カーボンニュートラル
- EV化進展など自動車産業の大変革
- ダイバーシティ&インクルージョンへの対応

インプット

- 財務資本**
 - JCR格付[A]
 - 質の高い自己資本
 - 健全な貸出資産
- 社会資本**
 - 最適な店舗網(店舗数)
 - 人口減少は緩やかで自動車産業を中心とした産業クラスターが形成されている肥沃なマーケット
- 人的資本**
 - 多様な人財
 - ES経営・健康経営の実践
- 知的資本**
 - 愛知銀行110年超・中京80年超の歴史
 - 顧客ニーズ・顧客情報の蓄積
 - 多様化するお客さまのニーズに対応できる関連会社ネットワーク

事業活動



アウトプット

- 法人関連**
 - コンサルティングソリューション
 - 資金支援
 - デジタル化・DX化支援
- 個人関連**
 - DXを活用した利便性の高いサービス
 - 資産形成、お客さま本位の業務運営
- 株主・投資家**
 - 株主還元の充実
 - 積極的な開示・対話・エンゲージメント
- 従業員**
 - リスクリング
 - ES・健康経営
 - D&I、ワークライフバランス
- 地域**
 - カーボンニュートラル実現
 - 産学官金連携
 - トランジション・ファイナンス

アウトカム

- 地方創生・地域経済の活性化
- 地域社会の持続可能な発展
- 多様な人財の活躍拡大
- 環境保全と気候変動対策

第1次中期経営計画テーマ：
Speed, Fusion & Chemistry

財務・非財務ハイライト

財務ハイライト

親会社株主に帰属する
当期純利益 (注)

818億円

ROE (注)

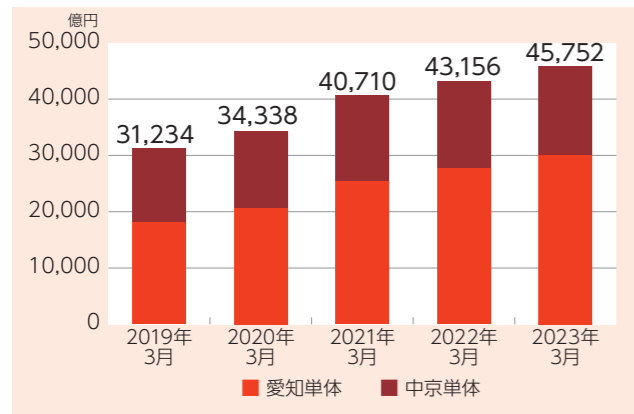
29.57%

自己資本比率

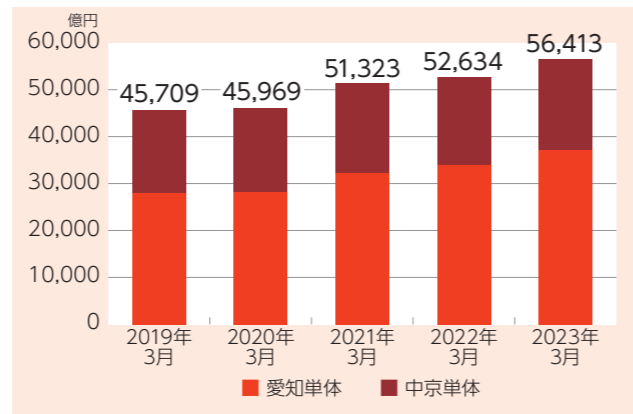
8.95%

(注) 企業結合会計の適用により、負ののれん発生益804億円が含まれております。

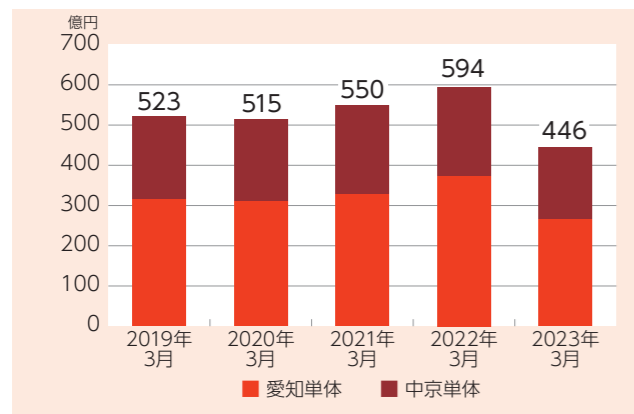
貸出金残高



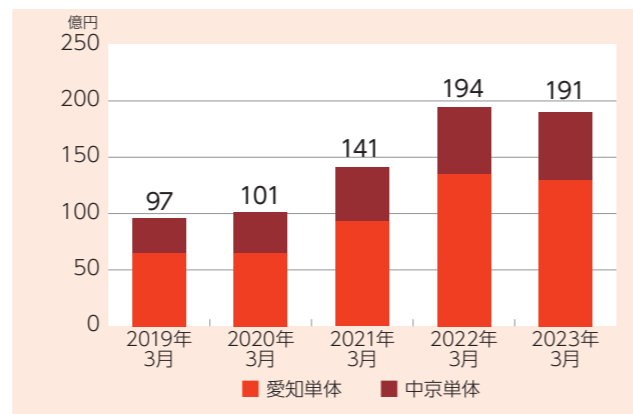
預金等残高



業務粗利益



コア業務純益



あいちFG連結業績

(単位：億円)

	2022年度	2022年度計画		達成率
		計画比	達成率	
経常収益	746	-	-	-
経常利益	52	44	+8	118.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	818	840	▲22	97.3%

配当の状況

◆2023年3月期 期末 50円
 ◆2024年3月期 (予想) 第2四半期 50円 期末 50円
 合計 **100円** (連結配当性向**87.4%**)
 ※当社は2022年10月3日設立のため、2023年3月期末配当が初めての実績となります。

株主還元方針 (配当政策)

収益基盤の強化に向けた内部留保を確保しつつ株主に対する還元を通して資本効率の向上を図るため、**1株につき100円**の年間配当を下限とし、自己株式取得についても柔軟に実施していくことを基本方針とします。
 具体的には、配当金と自己株式取得合計の**総還元性向30%**を目処とします。
 ※負ののれん発生益は除く。

非財務ハイライト

CO₂排出量削減率



60%
 (2013年度対比)
 (2行合算)

サステナブルに関連する投融資



660億円
 (2022年度実績)
 (2行合算)

SDGs私募債実績



505件
 (前年比+139件)
318億5,000万円
 (前年比+86億4,000万)
 (2行合算)

事業承継・M&A相談実績



594件
 (2022年度実績)
 (2行合算)

有料ビジネスマッチング契約実績



2,011件
 (2022年度実績)
 (2行合算)

独立社外取締役比率



33%
 (取締役15名のうち
 社外取締役5名)

女性管理職比率



愛知銀行：
13.6%
 中京銀行：
15.5%

男性育休取得率



愛知銀行：
88.4%
 中京銀行：
62.5%

格付



[JCR]
 あいちFG：**A**
 愛知銀行：**A**
 中京銀行：**A**